

## 総合的な学習の時間を活用した人間関係づくり

(県立守山高等学校)

### 1 取組のねらい

本校では、基礎学力に課題があり、高校生活に対する目的意識や意欲がもてなかつたり、人間関係の構築がうまくできなかつたりする生徒が多く在籍している。また、高校卒業後に、せっかく進学、就職しても、実力のなさや現実の壁に突き当たって退学や離職する者もいる。

そこで、総合的な学習の時間の活用を中心に教科の学習、学校行事など全ての教育活動を通じて、人間関係形成能力、情報活用能力、将来設計能力、意思決定能力の育成を図っている。

### 2 「Growing Up」(総合的な学習の時間の活用)

総合的な学習の時間を「Growing Up」と名付け、それぞれの学年でテーマを設け、生徒のキャリア形成を体系的、系統的に支援している。

- (1) 第1学年：「仲間づくり」－高校生活への適応(人間関係の構築、自己理解、コミュニケーション)－  
人間関係の構築のため、コミュニケーション能力や自他の理解能力を育成する。

(実践例) 構成的グループエンカウンターของกลุ่ม  
アプローチ演習

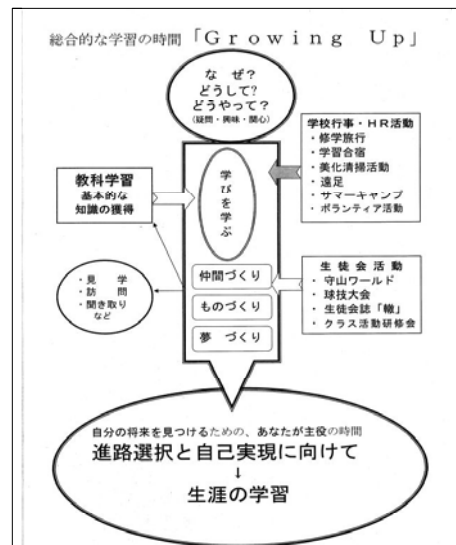
- (2) 第2学年：「ものづくり」－進路目標の確定(匠の技に触れる、インターンシップ)－  
一つのものを作ることを通じて情報収集能力や職業理解能力を育成し、具体的な将来設計を考える。

(実践例) 教員によるものづくりや技を体験

- (3) 第3学年：「夢づくり」－進路達成への努力(人間力の育成)－

自己実現に向けた職業選択能力や課題解決能力を育成する。

(実践例) 上級学校調査、小論文・面接指導、  
接遇マナー指導、キャリアサポーター  
による就職指導



平成24年度1年生クラス目標発表

### 3 1年生の取組「仲間づくり」の年間計画

#### ○テーマ「言葉」（1学期）

- ・体験学習「わたしのお店やさん」
- ・体験学習「無人島SOS」
- ・グループ討論「あなたならどんなセリフを言う？」

#### ○テーマ「フレンドシップ・シミュレーション」（1、2学期）

- ・相互理解のトレーニング（「4」参照）

#### ○テーマ「文字・態度・言葉」（2学期）

- ・インタビュー、他者紹介、文集・台本づくり
- ・電話のかけ方、手紙の書き方 など

#### ○テーマ「自分史」（2、3学期）

- ・自分史の作成



### 4 フレンドシップ・シミュレーション

第1学年の「Growing Up」では、「仲間づくり」をテーマに人間関係形成能力や問題解決能力の育成を図るとともに、自己の在り方生き方を考える演習を実施している。

特に、人間関係形成能力の育成には、平成23年度まで臨床心理士を講師として構成的グループエンカウターのグループアプローチを導入した演習（フレンドシップ・シミュレーション）を行い、教員もその手法を学んできた。平成24年度からは、教員がこの実習を行い、自己開示やコミュニケーションの苦手な生徒の集団への適応やクラスづくりに役立てている。

#### 【具体的な内容】

##### (1) 相互理解のトレーニング

- ・相手の気持ちを見分ける
- ・相手の考え方（ものの見方）を身に付ける
- ・相手に気持ちを伝える、相手の気持ちを聞き取る

##### (2) 怒りの分析とコントロール

- ・怒りの気持ちを学ぶ
- ・怒りのコントロール

##### (3) トラブル解決

- ・何が問題かを考える
- ・トラブル対処法
- ・いじめ対処法



平成22年度臨床心理士による  
「仲間づくり」



平成24年度1年生「仲間づくり」の演習